

平成 27 年 4 月 1 日

日本化粧品工業連合会

傘下会員各位

技術委員会

環境保安部会長

「ガス抜きキャップ装着」についての英文資料について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、日本化粧品工業連合会（粧工連）では、家庭からごみとして排出された廃エアゾール缶によるごみ回収車や廃棄物処理施設内での火災・爆発問題に対応するために、平成 17 年 9 月 7 日に「廃エアゾール問題に関する化粧品業界の対処方針」を策定し、傘下会員に遵守を要請して、その発生・被害防止に取り組んでいます。

当該対処方針におきましては、エアゾール製品への「ガス抜きキャップ」装着を定めているところですが、昨年 11 月 26 日に粧工連技術委員会が開催した「第 35 回化粧品技術情報交流会」において、参加者の方から「輸入エアゾール製品への対応を図るため、当該対処方針の英訳版を用意してほしい」旨の要請がありました。

このため、別紙のとおり、当該対処方針のポイントを記載した邦文及び英文の資料を作成いたしましたので、ご連絡いたします。

引き続き、「廃エアゾール問題に関する化粧品業界の対処方針」の遵守方、よろしく願い申し上げます。

敬具

2015年4月1日

ガス抜きキャップ装着に関する日本化粧品工業連合会の取り組み

日本化粧品工業連合会

1. 概 要

日本化粧品工業連合会（粧工連）では、家庭からごみとして排出された廃エアゾール缶によるごみ回収車や廃棄物処理施設内での火災・爆発問題に対応するために、2005年9月に「廃エアゾール問題に関する化粧品業界の対処方針」を策定し、会員に遵守を要請して、その発生・被害防止に取り組んでいます。

2. 「廃エアゾール問題に関する化粧品業界の対処方針」の内容

「廃エアゾール問題に関する化粧品業界の対処方針」では、会員は以下に記載する事項を前提として、「ガス抜きキャップ」を装着することとしています。

(1) 噴射剤に可燃性ガスを使用した人体用エアゾール製品のうち、以下のものを除き原則として「ガス抜きキャップ」を装着する。

①泡状・ゲル状のエアゾール製品

②内容量100グラム以下のエアゾール製品

(2) 「ガス抜きキャップ」は、消費者の誤操作による事故を防止するため、通常のエアゾール製品を使用する際の操作とは別に、二段階以上の分離した操作又はそれと同等以上の操作をしなければ残ガスを排出できない構造とする。

さらに、「ガス抜きキャップ」を装着したエアゾール製品の表示については、以下のとおりとしています。

(3) 容器本体に「ガス抜きキャップ付き」又は「ガス抜きキャップ付き（残ガス排出用）」との表示を行う。

(4) 容器本体にその使用方法と注意事項として、以下の内容に沿った記載を行う。

①使用方法の記載例：噴射音が完全に消えるまで放置したのち、キャップと容器本体を分離して定められた方法により廃棄すること。

②注意事項の記載例：「中身を使い切ってから行うこと」及び「火気のない屋外で行うこと」

(以上)

Managing Waste Aerosol Cans of Cosmetics

- Guideline of Aerosol Container Equipped with Gas Discharging Device -

1. Overview

Japan Cosmetic Industry Association (JCIA) established the guideline to manage waste aerosol cans of cosmetics in September 2005 in order to deal with an accidental fire or explosion in a garbage truck or waste processing facility by aerosol cans which were collected as garbage from households. JCIA has requested our members to comply with the guideline and tackled to prevent accidents or damages.

2. Outline of the JCIA guideline

The JCIA guideline requires our members to equip aerosol containers with gas discharging devices (degassing caps) on the premise of the following sections;

(1) In principle, aerosol products used for human body containing flammable gas as propellant shall be equipped with gas discharging device with the following exceptions.

- ① Foam or gel type of aerosol products
- ② Small size of aerosol products containing less than 100g

(2) Gas discharging device should be constructed to prevent an accident by consumer's misoperation. Mechanism of discharge has to require individual two-steps manipulation or equal to it, apart from the regular manipulation on the use of aerosol products.

In addition, the labeling of the aerosol containers equipped with gas discharging devices shall be described as follows:

(3) It shall be labelled on the container "equipped with gas discharging device", or "equipped with gas discharging device (for residual gas exhausting)".

Instruction and warning should be described on the containers according to the following examples.

- ① Instruction : Leave it until jet spray sound completely ceases and detach a gas discharging device from a container. Then discard a container by the prescribed manner.
- ② Warning : " do it after completely used up " and "do it outside, keep fire away"